

1月9日、えずこホールで令和4年成人式が挙行されました。この式典では、新成人が大人としての一歩を踏み出し、これからの社会を築き背負っていく節目の日であることを出席者全員で確認します。その決意を、代表のかた2名が「二十歳に思う」として発表しました。

令和4年成人式



中田 怜志さん

本日、人生の大きな節目となる成人式をこうして無事に迎えることができ、大変うれしく思います。

そして、このように盛大な素晴らしい式典を開催していただき、誠にありがとうございます。齋町長様をはじめ、多数のご来賓の方々にご臨席いただき、お祝いや激励など温かいお言葉をいただきましたこと、新成人を

代表して心より御礼申し上げます。

成人式という一つの節目を迎えた今日、こうして同級生と再会することができ、大変嬉しく思っています。この二十一年間、私たちは大河原という町とともに、多くの人に支えられながら成長することが出来ました。時にぶつかり合いながらもたくさん笑い合い、共に歩んできたかけがえのない仲間達、わが子のようにご指導してくださった先生方、いつも近くで私たちの成長を温かく見守ってくださった地域の方々、そして何より今日という日を一番楽しみにし、たくさんの愛情でここまで大切に育ててくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちは現在、職業に従事している者もいれば、学業に励んでいる者もいます。それぞれの道に歩み出した今、新型コロナナ

ウイルス感染症の影響で、先の見えない恐怖や思うようにいかないことが多々あり、将来に不安を感じながら過ごしてきました。

しかし、世間が暗い中、私に勇気と希望を与えてくれた存在がいます。それはエンゼルスの大谷翔平選手です。誰しもが無理だと言ったメジャーでの二刀流挑戦に挑み、ピッチャーとして九勝、バッターとしてホームラン四十六本を放ち、満票でのMVPという過去例を見ない記録を打ち立てました。連日の速報で大谷選手の活躍を知るたびに、胸が熱くなり自分も頑張らなくてはという気持ちにさせてくれました。東京オリンピックなどもありました。イベントもありましたが、一人で日本を熱くさせた大谷選手は日本の星でした。

私は、半導体関連の企業に就職させていただくことになって

います。コロナ等の影響で半導体不足が加速している中で、この問題をどのように解決していくか自分でできることをしていきたいと考えています。大谷選手のように日本の星にはなれなくても、大河原の星になれるよう努力していきます。

最後になりましたが、今まで自分を支えてくれた家族、友達、先生方、地域の方々に感謝をするとともに、自分も誰かの支えとなり助けていけるような社会人になれるよう、日々精進することをここに誓います。本日は誠にありがとうございます。

令和5年以降の成人式

令和4年4月1日から民法の改正により成年年齢が18歳に引き下げられますが、大河原町では令和5年以降も従来どおり20歳の方を対象に成人を祝う式典を開催します。

本日は私たちが成人としての第一歩を踏み出すにあたり、このような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。また、ご来賓の皆様には、ご多忙なところご臨席賜るとともに、皆様からのお祝いや激励の言葉をいただき、新成人一同厚く御礼申し上げます。

私たちは春に一目千本桜が咲きほこるこの大河原という地で、人生の大きな節目を迎えられていることを心から嬉しく思います。これも、これまで私たちに沢山の愛情を注ぎ、支え応援し続けてくれた家族や、喜怒哀楽をともししてきた仲間、熱心なご指導をしてくださった先生方、私たちを温かく見守ってください



武田 紗良さん

武田 紗良さん

武田 紗良さん

った地域の方々のおかげです。

新型コロナウィルスの影響で行動の制限を余儀なくされた約二年間、皆さんはどのような生活を送っていたでしょうか。私は大学に籍を置き、教師という道を志し、日々勉学に励んでいます。今年度は対面授業が増え、人と会えることの喜びや得られる学びが多いと実感しています。去年の秋、大学の先輩からの誘いでスポーツスクールのアルバイトをすることになりました。全ての授業がオンライン授業で人と会うことが無く、外に出る機会が減っていた私にとってひとつの光が差し込んだような感覚でした。私は教育について学び始めたばかりで、実際に活かすことができたのはほんの一部でした。このアルバイトを続けている今、一度実践して振り返ることの繰り返しでしたが、振り返ることができました。また、メインコーチという立場になり、アシスタントの方々に協力を仰ぐことの大変さを知りました。他の先生方とどう協力するべきかをこれから学んでいかなければならないと感じています。

私が教師を志した理由が二つあります。一つ目は、人前で話

すことができる力を活かしたいと思つたからです。教師はどんな不安があっても子どもたちの前では完璧な姿で堂々と話さなければなりません。私には人前で発表する経験が多くありました。だからこそ身につけた力を存分に発揮できるのは教師であると思つています。一つ目は、憧れの先生がいるからです。その方は何事にも全力で子どもと同じ目線に立って考えてくれる先生です。その方がいたからこそ今の自分がいると思います。

夢を持つことは素敵なことだと思えます。きっかけは小さくても大きくてもその人が目指すものがはっきりしていれば自信につながると思います。二十歳になり、大人としての一歩を歩き始めたばかりですが、まずは自分でできることをひとつひとつやっていくことが今の私たちにできることではないでしょうか。今日という節目の日をいつか振り返ったときに、「自分はある時より大人になったな」と感じることができるようにならう。精進していきます。

最後になりましたが、新たな門出を迎えた今、改めて多くの人への感謝の気持ちと成人とし

ての決意を忘れず日々前に歩いていくことを誓います。どうか今後とも、温かいご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

そして、本日お集まりいただきました皆様の一層のご健勝と大河原町の限らない発展をお祈り申し上げます、新成人代表の挨拶とさせていただきます。



実行委員の皆さんは、自分たちらしい門出となるよう準備を重ね、成人式当日は、司会や挨拶などの大役をつとめました。